

新学期より授業開始

大洗二中、三中の統合により前原山の景勝地に建築がすめられていた統合中学校は第三期工事の完成も目前に迫り、いよいよことしの新学期から二中、三中の生徒六二名(学級一二)が入り授業が始められる予定です。

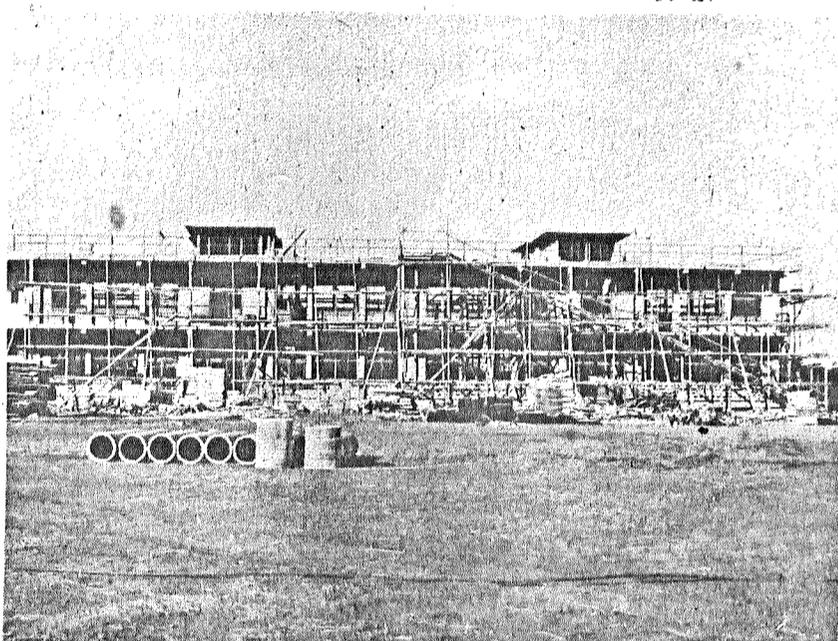
太平洋を眼下にし、鹿島洋を一望に収めるその雄大な景観にふさわしい鉄筋コンクリートの校舎は躍進大洗町を象徴するかの如く、道行く人々の眼をひかずにはおきません。日頃皆さんの御協力に對し感謝を申し上げ完成後の状況をお知らせいたします。

鉄筋コンクリート造二階建

完成近い学びの殿堂

- 総坪数 六五九坪 教室数 一五
- 職員室 一 放送室 一
- 教材室 一 校長室 一
- 保健室 一 シャワー室 一
- 使丁室 一 器具置場 一
- 脱衣室 二 宿直室 一

(写真は完成近い統合中学校)



恐しい成人病

高血圧に御注意

成人病とは、高血圧(脳卒中)が、心臓病をいいます。最近これら成人病によつて死亡する人が目立つてきました。しかも成人病は、四十才過ぎの働き盛りの年齢層からおこる病気です。しかし、この病気も早く発見して

これに對して身体の特長に病気があつてもその結果高血圧がおこる病気があつてもおこらぬおこなはなくてはなりません。そのおこなは病気をあげると

- 一、腎臓の病変によるもの
- 二、内分泌疾患によるもの
- 三、血管系の病変によるもの
- 四、妊娠中毒症によるもの
- 五、神経系病変によるもの

【高血圧治療の一般的方針】
本態性高血圧症は一旦発病すれば、たとえその後殆んど常態に復たつて、すべての人が薬物療法

解説

本年一月一日から夫と生き別れて児童を育てながら生活とたたかっている母子家庭や、孤児を育てている家庭に児童の養育費の一助として「児童扶養手当」が支給されますがその受付は昨年十二月初めから現場で行つております。支給資格があつても請求書を出さないと支給されませんので忘れずに申請して下さい。

生別母子 児童扶養手当 家庭に 忘れず請求の手續きを

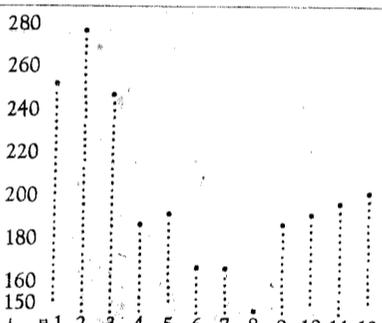
父母などが養育している場合に支給されます。

- 一、父母が婚姻を解消した児童
- 二、父が死亡した児童(公的年金を受ける児童を除く。)
- 三、父が養育の児童

支給の制限
母や養育者、児童が母子福祉年金、厚生年金や遺族補償を受けられる場合と、母や養育者が前年一ケ年間に十三万円以上の所得があつた場合には支給され

心配ごとと相談所

今日のように世の中が複雑になり、所得格差の増大や物価の値上りしたことなどは日常生活の苦しさとともに家庭の内外にいろいろ困難な問題をおこしていると言われております。



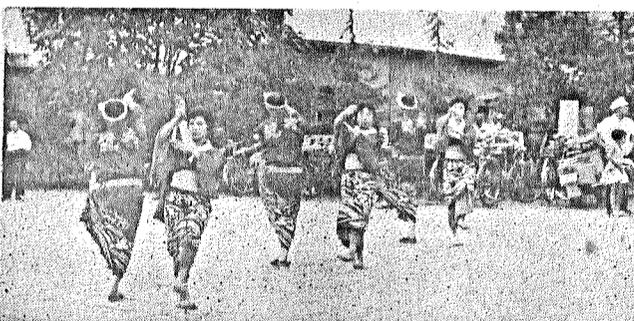
三浜 大漁節考

私達の悲願であつた、大洗港もいよいよ昨年十一月に起工され「磯の浜辺にせきがなげ」様な大漁ももう夢ではなくになりました。ここで、この地方でよく唄われる、大漁節について考えをしてみよう。

三浜大漁節は大正の初年に大漁があつた時、本町祝町の人渡辺精作氏(弘化二年大正九年)が作つたものです。この人は引手茶屋を業としていましたが文雅風流を好んで沖州と号してたくさん詩歌をのこしました。又竹葉坊、晴江と称して俚謡も大へん上手でした。今日唄われている磯節にも、この人が作つたものがたくさんあります。

大漁節は竹葉坊が或る人にたのまれて、一夜にして作つたものだそうですが、その漁業の知識と方言の豊かさに、誰れもが驚かされます。元治年間出来たと伝えられる、銚子の大漁節より唄としては、はるかに面白いものがある様に思ひます。

而して、もう「真帆や片帆」の時代ではない。全部マヤカ船の時代なのだから、もうそろそろ新しい大漁節が出て、頃ではないか、と云うような意見もはつぽつあるようです。けれども方言や、古い漁法などがだんだん忘れられて行く今日なので古い正しい唄を伝える事も、意義のある事と思ひます。以下誤つて唄われている所など、氣のついた点をあげてみます。



「まね」と云うのは大漁のあつた時立てる祝旗でどの船も、どの船も、来る船来る船が全部まねを立てているのが「まねまね」です。先般出版された本に「相場」とありましたがこれは誤りです。

「十とせ」の処で「とろみ鯉」と云うのは鯉の群が一ヶ所にたまつていて、この反対に鯉の群がぐんぐん泳いでいるのを「せいら流し」と云つています。「釣りこんで」と「積みこんで」は誤り、「おしこむ矢声」を「こぎくる矢声」と唄う人もありますが前者が正しい。「おしこむ」とは櫂をおす意味と川口に突入する意味とをかけて

- あるものです。銚子の大漁節にも「川口押こむ大矢声」「続いで押込う大矢声」等がありますしやく銅色の漁夫が「まゆわい」をきて祝旗によいしれて歌つた大漁節もいづし華麗なおどりの様になり、又今では婦人会青年団のリクイエーションに利用され、体育祭等で発表し、なかなか好評を博しております。「もめる浜に漁なし」と云う言葉がありますがその反対に当大洗町はまことになごやかで、今や二万三千人の町民が一九となつて力を併せ港造りを始めました。大漁、大漁の音が今より一層町中に満ち満ちるのも、もう目前にせまっていますね。
- さあ、皆さん唄いませう大漁節を……
- 一つとせ、一番漁した優勝旗立て、新造の船おろし
- 二つとせ二棹三棹は恵比須抱きつのが鯉の曲を取る
- 三つとせ秋刀魚流しやうたせ船白らむ湊は魚の山
- 四つとせ、夜のあらせにそよそよと
- 真帆や片帆の舵まくら
- 五つとせ、磯の浜辺は鯛ひらめあじこち並べてせきがなげ
- 六つとせ、向いた船は南洋島専漁していけどこまで
- 七つとせ、渚狭しと平磯の砂にころがるめじかじき
- 八つとせ、八重の汐路を乗り分けて
- 北は千島のはてまでも
- 九つとせ、くじら廻しの大鯨
- そうまね立てくる賑かさ
- 十とせ、とろみ鯉を釣り込んでおしこむ矢声のヤツシ

式起港洗大

躍進大洗町の基礎づくり

港湾建設実現の夢は私達大洗町の五十余年に亘つての切なる願いでありました。数年前から朝野をあげての積極的な猛運動の結果がようやく実を結び、昭和三十六年度新規港湾として採択され、五ヶ年間の継続事業で総工事費六億二千八百万円の予算が決定されましたことは既にお知らせした通りです。

その後資材搬入道路の新設も関係者皆様の御理解ある御協力を得てほぼ完成をみましたので、去る十一月十一日有賀神社例大祭の佳き日を以て記念すべき起工式が厳し

くの中に行われ、この日早朝より勇ましく花火が打ち上げられ折柄の好天に恵まれ、前日来準備万端整った海岸工事現場の会場前には建設着工を永久に記念しその完成を祈る若上県知事直筆の基石(みかげ石の記念石)がロープで高々と吊され、知事の「オノ」入れを待つていました。

町内の辻々には祝大洗港起工式の横断模が張られ、漁船の満艦飾用大旗小旗が無数にかかげられ大洗仲買人組合の山車につき同組員二十八人衆の勢揃い、さては青年団一同五十名による磯ぶしゆかたにスゲ笠のそい姿での磯節踊りの行進隊大洗漁協商店会の山車、町立中小学校児童生徒の旗行列奉祝柔剣道大会と町内は祝賀一色にぬりつぶされました。

定刻が近づくとつれ、国から斉藤運輸大臣をはじめ、関係国会議員、港湾局長、横浜第二港湾建設局長、他本省関係者、県議員、県担当係官地元町議を

はじめ有士各位がぞくぞくと詰めかけ五百人を収容するさしもの大天幕もぎつしりとつまつた。定刻開式の辞に始まり大洗神社神官による祭事ののち條塚官司のおごそかに奏するのりとは私達永い間の苦節を想起させ、しらすしらす眼頭が熱くなるのでした。

関係代表者の玉串奉奠のあと基石の投下が若上知事の打ち下す「オノ」によつて「ハッシー」と切り落され万雷の拍子は太平洋

はじめ有士各位がぞくぞくと詰めかけ五百人を収容するさしもの大天幕もぎつしりとつまつた。定刻開式の辞に始まり大洗神社神官による祭事ののち條塚官司のおごそかに奏するのりとは私達永い間の苦節を想起させ、しらすしらす眼頭が熱くなるのでした。

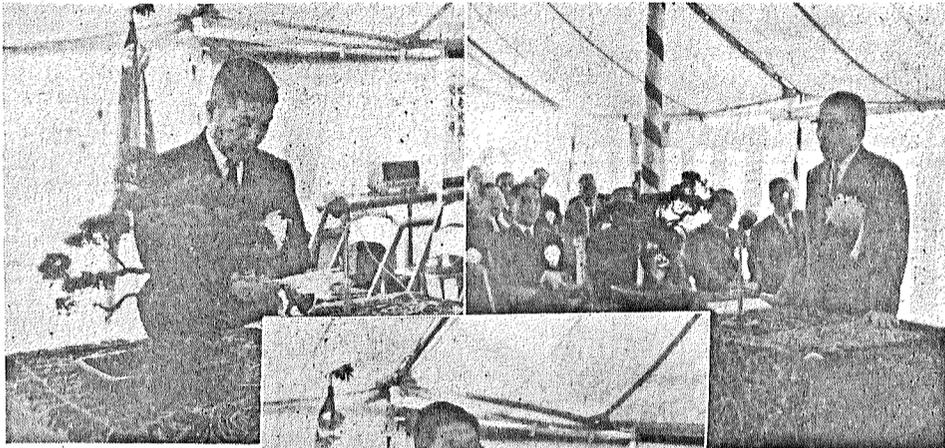
関係代表者の玉串奉奠のあと基石の投下が若上知事の打ち下す「オノ」によつて「ハッシー」と切り落され万雷の拍子は太平洋

はじめ有士各位がぞくぞくと詰めかけ五百人を収容するさしもの大天幕もぎつしりとつまつた。定刻開式の辞に始まり大洗神社神官による祭事ののち條塚官司のおごそかに奏するのりとは私達永い間の苦節を想起させ、しらすしらす眼頭が熱くなるのでした。

関係代表者の玉串奉奠のあと基石の投下が若上知事の打ち下す「オノ」によつて「ハッシー」と切り落され万雷の拍子は太平洋

はじめ有士各位がぞくぞくと詰めかけ五百人を収容するさしもの大天幕もぎつしりとつまつた。定刻開式の辞に始まり大洗神社神官による祭事ののち條塚官司のおごそかに奏するのりとは私達永い間の苦節を想起させ、しらすしらす眼頭が熱くなるのでした。

関係代表者の玉串奉奠のあと基石の投下が若上知事の打ち下す「オノ」によつて「ハッシー」と切り落され万雷の拍子は太平洋



順調に進捗しています。現在の状況は一、東防波堤全長三六五米のうち昭和三十六年度実施計画事業一〇五米基礎積石完成三〇米の国補事業の基礎(二、五屯、三、〇屯程度の方塊)目下作成中。二、資材搬入道路巾員七米延長一七〇米ほぼ完成、昭和三十七年度の事業予算はおそらく一億円前後と思はれますので今年のうちには港らしい形になつてくるでしょう。

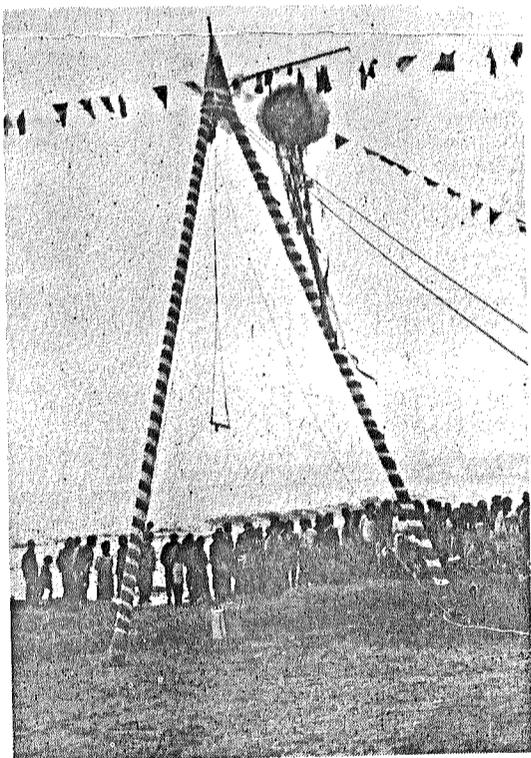
「港湾なきところ発展なし」とは将に至言であり、百屯の船一隻が入港すれば百万円の仕込をするといわれています。これからの大洗町の産業が飛躍的な発展を遂げるであろうことは決して夢ではないと思ひます。町民皆様の一層の御精進と御協力を切に願つてやみません。

洋の海上をいつまでもすべつてゆきました。

知事式辞につづき斉藤運輸大臣の早期完工に努力するとの力強いあいさつ、各界代表の祝辞のち乾杯、万才三唱、祝宴とつづき会場は希望と歓喜に満ち溢れ、着工を祝う人々の心はいやが上にもハズムばかりでした。世紀の祭典は夕方近くまで行はれ街々は人の波で埋められたのでした。

その後建設工事は菅原建設の手によつて折柄の好天に恵まれ

- 上段右 斉藤運輸大臣の祝辞
- 上段左 若上県知事式辞
- 中段右 基石おのの入り
- 中段中 投下された基石
- 中段左上 祝賀式場風景
- 中段左下 町内祝賀風景
- 下段右 大洗漁協だし
- 下段中 仲買人組合だしと青年団
- 下段左 学童の旗行列



町をあげての大祝い

